

ユニバーサルデザイン天文教育研究会プログラム (2010/05/14)

日時：2010年6月6日(日) 午前10時～7日(月) 午後5時半

場所：国立天文台大セミナー室(6日)、講義室(7日)

主催：国立天文台、共催：天文教育普及研究会、協力：天文教育普及研究会ユニバーサルデザインWG

趣旨：

宇宙や星について知る・学ぶ楽しみは世代や性別、障害の有無にかかわらず共有されるべきですが、現状は、残念ながら「ユニバーサル」という言葉からはほど遠いものといえます。そこで、天文関係者のみならず障害者教育や病院活動などでご活躍の方も交え、従来とはひと味違った「天文教育普及活動」について共に語り合うための研究会を企画しました。

本研究会では、今までの活動でとかく忘れられがちな障害者(視覚、聴覚など)や特別支援学校の生徒、病院に長期入院中のこどもなどを対象とした天文教育普及活動について事例発表をもとに、さまざまな人々と「知る喜び、感じる喜び」を共有できる天文教育普及活動のありかたについて議論を深めます。

なお、「ユニバーサルデザイン天文教育」は、特殊な立場にある人々が対象の「特別な」活動では決してないことを強調しておきます。誰にもわかりやすい天文の魅力、あるいはコミュニケーション手法という観点から、天文教育普及活動をとらえ直すことは、研究・教育者と一般市民の間に横たわるバリアを明らかにし、それをとり除くことにつながります。「特殊な活動」でなく「普遍性を生み出す活動」とご理解ください。

第1日(6月6日)

午前セッション(10:00~12:00) (座長：富田晃彦)

10:00 嶺重 慎(京都大学) はじめに(15分)

10:15 広瀬浩二郎(国立民族学博物館)

「さわってみる」点示学事始め——六星から満天の星へ(40+5分)

11:00 神田美子(京大病院小児科ボランティア「にこにこトマト」)

いつでも だれでも どこでも(40+5分)

11:45 中川律子(さかさパンダサイエンスプロダクション)

科学と福祉をつなぐ(10+5分)

昼休み(12:00~13:30)

昼休み中の12:40~13:20に、天文台構内見学ツアーを開催します。その場でお申し込みください。

コース1：国立天文台内歴史散歩(担当：縣秀彦)

コース2：三鷹市星と森と絵本の家、訪問

午後セッション1(13:30~15:35) (座長：藤原晴美)

13:30 久部幸次郎(関西学院大)・久部悦子(有)リポート)

天文学図書における天体写真の点図化について — その方法と課題 — (35+5分)

14:10 柴田直人(筑波大附属視覚特別支援学校)

盲学校における天文分野の指導事例(10+5分)

14:25 小池貴之(文京盲学校)

天文学入門出前授業をお受けして(10+5分)

14:40 菊池秀一・中村正之(常磐大学)

公共天文台における触覚型展示資料の可能性に関する研究(20+5分)

15:05 渡部潤一(国立天文台)・奥村泰司(北海道鷹栖養護学校)

重度身障者用天体観望延長接眼部の開発(10+5分)

15:20 尾崎勝彦(フリー)

ホスピスにおける観望会(10+5分)

午後セッション2 (16:00~17:55) (座長: 臼田-佐藤功美子)

- 16:00 松崎伸一 (三鷹はなの会)・縣秀彦 (国立天文台)
ネットワークで地域を耕す。星と風のカフェと国立天文台 (10+5分)
- 16:15 網倉聖子 (株) Coming)
市民が創る『サイエンスコンサート』実現にむけて (10+5分)
- 16:30 高橋真理子 (山梨県立科学館) ほか
見えない宇宙を共有する~星の語り部の活動~ (50+10分)
- 17:30 初日まとめの議論 (30分)

懇親会 (国立天文台講義室で) (18:00~20:00)

第2日 (6月7日)

午前セッション (9:30~11:45) (座長: 高橋 淳)

- 9:30 藤原晴美 (元盲学校教諭)
ユニバーサルデザイン天文は双方向で~互いの“思い込み”を少なくするために~ (30+5分)
- 10:05 根本しおみ (川口市立科学館)
アメリカの科学館におけるバリアフリーの取り組み (10+5分)
- 10:20 杉中 慎 (福島市子どもの夢を育む施設こむこむ)
視覚障がい者と共に楽しむ「フィーリング・プラネタリウム」の取り組み (10+5分)
- 10:35 富田晃彦 (和歌山大)
特別支援学校での宇宙のお話 (30+5分)
- 11:10 犬飼岳史 (山梨大小児科)
小児科病棟での軒下観望会の試み (30+5分)

昼休み (11:45~12:45)

午後セッション1 (12:45~14:55) (座長: 伊藤哲也)

- 12:45 根本しおみ (川口市立科学館)
聴こえる人も聴こえない人も共に楽しめる字幕付きプラネタリウム (20+5分)
- 13:10 飯塚高輝 (竜のおとし子星の会)
新天文手話法 (40+5分)
- 13:55 石垣梓 (札幌市青少年科学館)
札幌市青少年科学館における『字幕付きプラネタリウム』の実施例 (10+5分)
- 14:10 田中芳則 (パソコン要約筆記なごや組)
名古屋における聴覚障害者への字幕プラネタリウム活動 (10+5分)
- 14:25 祓川友宏 (静岡大)
プラネタリウム映像作品への字幕後付け技術の研究 (10+5分)
- 14:40 小幡真希 (星空案内人みたか)
カンボジア国内での活動報告~発展途上国での天文教育普及を考える~ (10+5分)

午後セッション2 (15:25~17:30) (座長: 嶺重 慎)

- 15:25 グループ・リーダー紹介: 縣 秀彦、伊藤哲也、臼田-佐藤功美子、高橋 淳、高橋真理子、富田晃彦、
根本しおみ、藤原晴美 (15分)
- 15:40 グループ・ディスカッション (60分)
- 16:40 休憩 (10分)
- 16:50 研究会まとめの議論 (40分)

ポスターセッション

阪本成一 (JAXA) 肌や耳で感じる月のでこぼこ